

栃木南部農業水利事業

西部幹線排水路改修工事 (その2)

本工事は、国営栃木南部農業水利事業の一つとして、栃木県小山市白鳥地区にて使用されている排水路の改修工事となります。これは近年の降水量の増加により、従来の排水施設では排水処理能力が不足しているため、今後も地域農業を支えられるよう西部幹線排水路の拡幅を行います。

当工事は、営農が終わった農閑期のみに限られた工期での施工となりますが、既設横断工部の基礎杭の撤去が必要になるなど不測の事態においても工期延長を協議しつつ、適正工期の確保を図りながら進めているところです。

現在はL型水路本体の設置、農道横断部のボックスカルバートの施工を行っており、クレーンやバックホウなどの重機作業を主に行っています。今後は土工事と農地の返還にむけた復旧作業を並行して行い、完成に向けて作業していきます。作業ヤードが限られる中での施工となりますが、施工打ち合わせを密に行い、無事故で竣工を迎えられるよう作業所全体で一丸となって工事を進めてまいります。



監督職員からのエール

西部幹線排水路は栃木南部農業水利事業の主要施設である、与良川統合排水機場に接続する排水路で、本年度から改修工事を行っています。現況の柵渠水路をL型水路と底版コンクリートにて改修するものであり、ボックスカルバートによる横断工の施工が一箇所含まれています。現場が渡良瀬遊水地に近接の田園地帯で、地盤が軟弱のため、水路全線においてセメント改良材による浅層改良、また横断工部は深さ約9mの中層混合改良が伴います。

施工者である岩田地崎建設株式会社の現場代理人兼監理技術者である岡さんにおいては、工事着手前の地元説明会からオブザーバーで参加いただくとともに、施工開始後は工事に関する耕作の方々への復旧に関する確認等にもご協力いただき、大変感謝しています。また、想定していなかった埋設物の撤去においても迅速に対応いただいたところです。

今後とも受発注者相互に協力し、地元の良いものが残せるよう、最後までよろしく願い致します。

現場代理人

(写真右) 岩田地崎建設株式会社

現場代理人兼監理技術者 岡 佑樹

監督職員

(写真左) 栃木南部農業水利事業所

工事課 技術専門官 山田 賢治

(令和5年4月より西関東土地改良調査管理事務所 企画情報管理官)

